

オーストラリアでの発見

藍住東中学校 村田 一朗

「観光旅行では経験できないような 10 日間を過ごそう！」という気持ちで僕はオーストラリアに行きました。シドニー空港からバスでの移動中初めてオーストラリアの景色を見て、広々とした道路や緑あふれる景色に国土面積の違いを実感しました。お店の看板が少なくシンプルな街並みで道路標識が見やすかったです。信号は縦型でした。

1 番ドキドキしていたことはホストファミリーとの対面でした。初めて入る外国の家でも緊張しましたが、家族皆笑顔で迎えてくれホッとしました。庭にたくさんの木が植えられていたので、英語で聞いてみるとレモン、パッションフルーツ、バナナを植えていると教えてもらいました。初日にこのやり取りができた事で自信がついて積極的にどんどん話しかけることができました。連れて行ってもらったスーパーはとても広く、レジもセルフで日本との差はあまり感じませんでした。肉が日本のようにトレーで売られておらず塊肉が真空パックされている物ばかりだったのでとても印象に残りました。帰宅後、近所の子と電動キックボードで遊んだりしました。

初めての夕食はホストファミリーの女の子の誕生日という事もあり、ステーキとケーキをいただきました。ハッピーバースデーの歌は日本と同じだったので、一緒に歌い楽し



かったです。食後は子供たち皆で皿洗いをして片付け、その後 UNO をして盛り上がりました。

学校生活は、みんなフレンドリーでハンドボールなど一緒に遊んでとても楽しい経験でした。お昼、ホストマザーが用意してくれた昼食の袋を開けるとパン、お菓子、丸ごと 1 個のリンゴが入っていました。改めて食文化の違いを感じました。授業では知らない単語も出てきて、日本から持って行った辞書がとても役に立ちました。日本ではすぐにスマホで調べたりしていたので、これもとても新鮮でスマホよりも記憶に残る感じがしました。2 時間目終了後、20 分間モーニングティーという時間がありました。おやつを食べたり自由に過ごす事ができます。僕はバレーボールをして過ごしました。色々な人とコミュニケーションを取れ

るのでとても有意義な時間でした。日本にもこのような時間があればいいなと思いながら楽しみました。

学校2日目には遠足にも行きました。カンガルーに餌をあげたり、コアラに触れたりしました。立ち寄ったショッピングモールで僕はペットボトルのジュースを買い、帰宅後ペットボトルを捨てるためゴミ出しのルールをホストマザーに聞くと、ペットボトルは1本10円で買い取ってくれ、リサイクルされると教えてくれました。とても羨ましいルールだと思いました。



週末はサッカーの試合観戦などに連れて行ってもらいました。最終日は少し見慣れてきたオーストラリアの景色を車から見ながらとても寂しい気持ちになりました。

オペラハウスやブルーマウンテンに行った事も、もちろん楽しかったですが、ホームステイでオーストラリアの家庭の日常を経験できた事が僕の財産となりました。この事業に参加させてもらえた感謝の気持ちを忘れず、これからも色々な事に挑戦し、努力し続けたいと思いました。

